

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：本田 武志

事業名	東武鉄道伊勢崎線・野田線（春日部駅付近）		事業区分	連続立体交差	事業主体	埼玉県
起終点	伊勢崎線 自：埼玉県春日部市南一丁目 至：春日部市粕壁四丁目 野田線 自：埼玉県春日部市南一丁目 至：春日部市粕壁				延長	3.5km
事業概要	本事業は、東武鉄道伊勢崎線・野田線の春日部駅付近の約3.5kmにおいて鉄道を立体化することにより、10箇所の踏切（うち開かずの踏切3箇所、ボトルネック踏切1箇所）を除却し、都市交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。					
平成31年度事業化予定	平成30年度都市計画決定					
全体事業費	約650億円	事業進捗率	0%	供用済延長	0km	
計画交通量	149,405台時/日（踏切交通遮断量）					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)	371/371億円		548/548億円		平成26年
	1.5	事業費：371/371億円		走行時間短縮便益：439/439億円		
	(残事業)	維持管理費：0/0億円		走行経費減少便益：98/98億円		
	1.5			交通事故減少便益：11/11億円		
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.6（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=1.3~1.6（交通量±10%） 事業費：B/C=1.6~1.3（事業費±10%） 事業費：B/C=1.6~1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.5~1.4（事業期間±20%） 事業期間：B/C=1.5~1.4（事業期間±20%）					
事業の効果等	・春日部駅付近で交差する道路では、1時間当たり40分以上遮断している「開かずの踏切」が複数存在していることから、踏切を一挙に除却することにより、交通渋滞や踏切事故の解消、市街地の一体化を図る。					
関係する地方公共団体等の意見	・特になし。					
事業評価監視委員会の意見	・県の対応方針（案）を了承する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・交差道路は1時間辺り最大56分間遮断している踏切があるなど、依然として交通が途絶された状態であり、地元市からの要望活動も毎年行われており、事業への期待は高い。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・事業化前の着工準備段階である。 ・平成31年3月に都市計画決定を行った。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成31年度の事業化に向け進めていく。					
施設の構造や工法の変更等	・駅部を3面6線から4面8線に変更（増設分は鉄道事業者負担）					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	・本事業は、交通渋滞、踏切事故を解消するとともに、分断された中心市街地の一体化を図り、地域の生活や経済活動の発展に寄与する重要な事業である。 ・引き続き事業と一体となったまちづくりを推進し、早期にコスト縮減や事業期間の短縮の課題解決を行い、事業化に向けた検討を続ける必要がある。					

